

横浜市・泉区・緑園「地域福祉保健計画」における 災害時要援護者に関する内容

第4期横浜市地域福祉保健計画(令和元年度～5年度)

推進の柱2:身近な地域で支援が届く仕組みづくり

1.見守りの輪の拡大:活動指標

・災害時要援護者支援の取組を実施している自治会町内会の割合(85.1%)の上昇を

第5期横浜市地域福祉保健計画(令和6(2024)年度から令和10(2028)年度)

第4章 推進のための取組 1 身近な地域で支えあう仕組みづくり

災害時要援護者支援等を通じた、平時からの地域主体の見守り活動の支援<市・市社協>

第4期泉区地域福祉保健計画(令和3年～7年度)

推進の柱1行動計画<健やかに過ごせるまち>

重点項目3 地域の安全をみんなで考える

1. 安心・安全に暮らせる環境の整備と推進

高齢者や障害児・者など、災害時に手助けが必要な方(災害時要援護者)の把握や見守り、
避難支援の仕組みづくりを地域と共に進めます。

第4期緑園地域福祉保健計画(令和3年度～7年度)

D:支え合い・助け合い ●災害時要援護者支援「自治会と共同で支援」